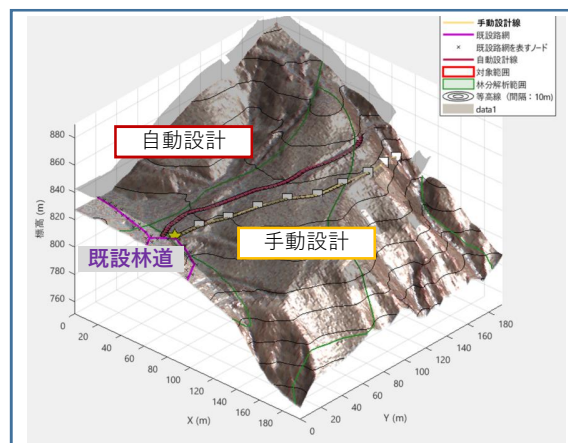


天竜農局で 路網設計支援ソフトFRDが利用できます

航空レーザ計測で得られた精度の高い地形データ（DEM）をもとに、縦断勾配・幅員・コスト等のパラメータを調整することで、条件にあった線形案を効率的に設計することができます。

例えば...

- このエリアで主伐をしたいが10t積トラック規格の作業道が入るか確認したい。→ ①自動設計
- 現場で決めた線形が補助要件を満たす道になっているか確認したい。→ ②手動設計



以下のデータを準備します。

（※森林経営課で地形データ等の作成対応も可能です。ご相談ください。）

	必要なデータ		準備方法	有無
1	地形データ	GeoTiff形式のDEM	G空間情報センターの「VIRTUALSUZUOKA静岡県中・西部点群データ」からLPデータグリッドデータをダウンロードし、QGISで加工	
2	地図データ	背景地図	森林クラウド（森林計画図）からGeoTiffエクスポート	
3	路網データ	既設路網の起点位置	森林クラウド（林道）からShapeファイルエクスポート	
4	林分データ（小班）	経由地の参考	森林クラウド（森林計画図）からShapeファイルエクスポート	

①自動設計の場合		②手動設計の場合	
幅員	m	線形案	図面、座標等 (可能ならshp、gpx等も可)
最大縦断勾配	%	申請予定事業	
最小曲線半径	m		
切土・盛土勾配			
始点・終点	図面		

※本表に記載した主な設計条件をあらかじめ整理し、お手持ちのデータを事前に提出いただくとスムーズに設計検討できます。